|  |  |
| --- | --- |
| 教科：[　家庭　]／科目名：[　家庭基礎　]／[　１　]学年対象・[　２　]単位 | |
| 出題する考査 | [　１　]学期[　期末　]考査 |
| 該当する単元等 | 保育 |
| 出題意図  （レベル） | （１）Ｉレベル　（２）Ｉレベル　（３）Ｉレベル　（４）Ｅレベル |
| 【Ｄ】新聞記事「パパも育休 ８割」では、働き方を巡って先進的とされる国「スウェーデン」の取り組みが紹介されていました。記事に関する問いに答えなさい。  　（１）スウェーデンの働く女性を支援する主な制度に関し、「税制」「育児休暇」「保育」の３つが紹介されていました。どのような工夫がなされていたか、制度の内容を説明する文章の空欄に適語を答えなさい。なお、（カ）についてはどちらか選択しなさい。   |  | | --- | | 「税制」・・・（　ア　）税の計算を（　イ　）単位から（　ウ　）単位に変更し、（　エ　）が働くことで税率が上がる状況を解消した  「育児休暇」・（　オ　）合わせて480日間の「（　カ：有給or無給　）育児休暇」が取得できる。  「保育」・・・国と地方自治体が、（　キ　）歳以上の全ての子どもに（　ク　）などで保育を受ける機会を保障 |   　（２）スウェーデンでも伝統的な価値観は根強かったが、そこで導入された新制度（94年導入）により男性の育休取得率が飛躍的に上がった。それはどういうものだったか説明しなさい。  　（３）熊本県の現在の父親育休取得率の目標値を答えなさい。  　（４）(2)(3)を踏まえ、あなたが国会議員になったとして法律を提案するとするならば、どのような工夫をし、どのような法律名にするか考えなさい。下記のチェックリストを参考に、具体的提案を答えなさい。   |  |  | | --- | --- | |  | チェックリスト | | Ｉ | □工夫がわかる（表現された）法律名である | | Ｃ | □新聞記事にあったスウェーデンの法律と関連がある提案である | | Ｅ | □日本の実状にあっており、飛躍的に「パパの育休取得率」が増加しそうな提案である | | |
| 採点基準  （配点） |  |
| 備考 | ＊考査時間を有効活用するための工夫として、課題とする新聞記事を事前に読んで考査に臨むスタイルを取り入れた。課題とした新聞記事についても、全生徒がゴールデンウイークの課題として取り組んだ際に選んできた新聞記事の中から選んだものを使い、自分達生徒の中にそのような新聞の読み方ができ選択ができる人がいるのだというメッセージを込めた。  ＊（４）の出題にＩＣＥモデルの観点で作成したチェックリストを示し、どのような質の思考・工夫を問われているかを理解しやすくするための「足場かけ」を行った。 |